



株式会社 IDホールディングス
2026年3月期第1四半期 決算説明資料

代表取締役社長 兼
グループ最高経営責任者
船越 真樹

東証プライム市場
証券コード

4709

当社ウェブサイトへの
アクセスができます。



(開示日:2025年8月14日)

売上高:96億72百万円(前期比 +14.0%)



⊕ アプリケーション開発、ITインフラおよびサイバーセキュリティ※が堅調に推移

営業利益 :10億9百万円(前期比 +38.3%)

営業利益率:10.4%(前期比 +1.8P)



⊖ 従業員への還元や、人材育成・確保のための戦略的投資費用の増加

⊕ 売上高の増加や、のれん償却額の減少

※2026年3月期より、従来のサービス名「ソフトウェア開発」を「アプリケーション開発」に変更、従来のサービス名「サイバーセキュリティ・コンサルティング・教育」を「サイバーセキュリティ」、「コンサルティング・教育」に分割して記載しています。なお、サービス名の変更は事業内容の変更をともなうものではありません。

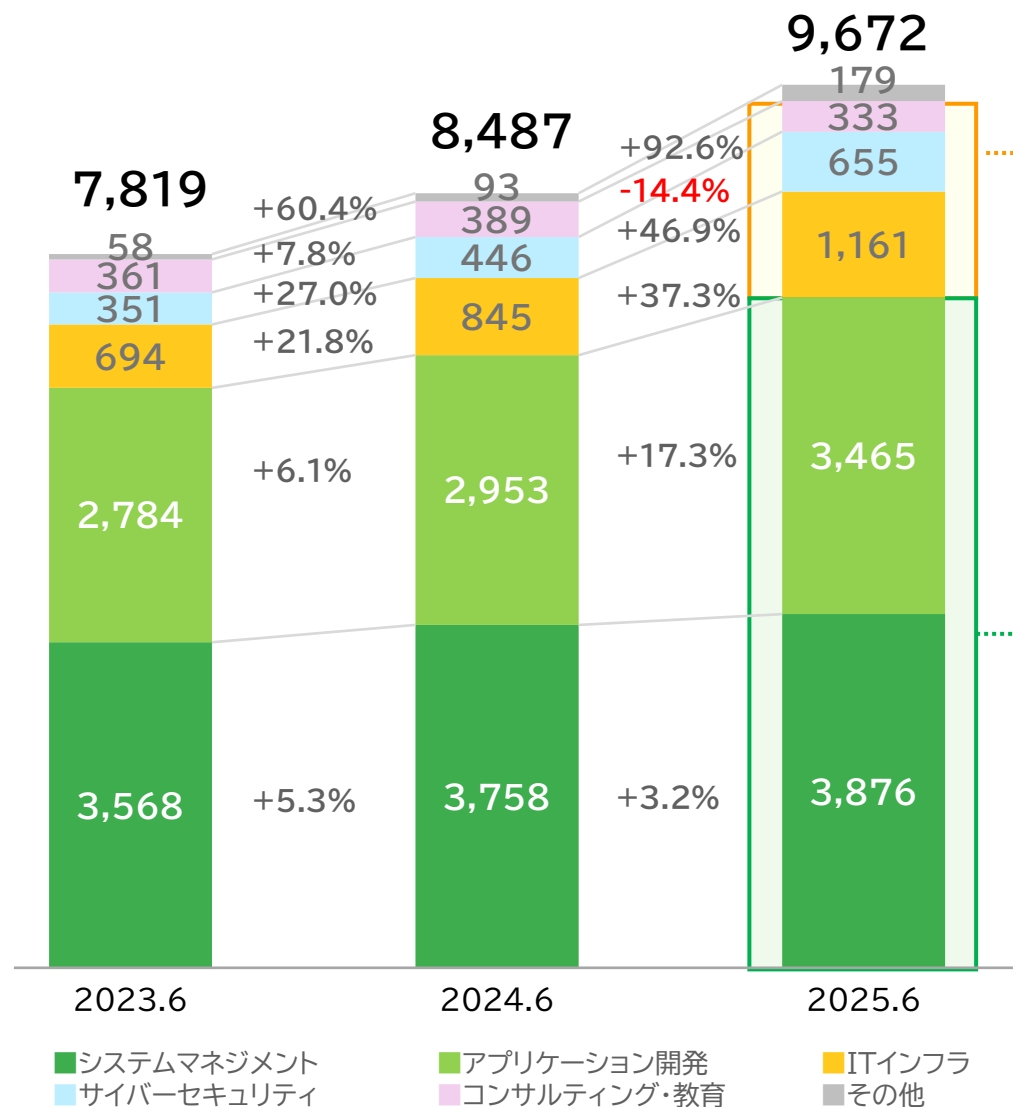
連結損益状況(前年同期比)

(単位:百万円)	2024.6		2025.6		増減比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	8,487	-	9,672	-	1,185	+14.0%
売上原価	6,502	76.6%	7,086	73.3%	584	+9.0%
売上総利益	1,984	23.4%	2,585	26.7%	601	+30.3%
販管費	1,255	14.8%	1,576	16.3%	321	+25.6%
EBITDA※1	893	10.5%	1,104	11.4%	210	+23.6%
営業利益	729	8.6%	1,009	10.4%	279	+38.3%
経常利益	799	9.4%	1,012	10.5%	212	+26.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	451	5.3%	622	6.4%	170	+37.8%
1株当たり四半期純利益(EPS)(円)	26.97	-	37.02	-	10.05	-
のれん償却前EPS(円)※2	33.60	-	40.02	-	6.42	-

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額
※2 のれん償却前EPS = (親会社株主に帰属する当期(または四半期、中間)純利益 + のれん償却額) / 期中平均株式数

サービス別売上高

単位:百万円



注力領域
21億
50百万円
(YoY+27.9%)

コンサルティング・教育(売上高構成比:3.4%)
⊖ 一部顧客における案件の終了や研修の受注減

サイバーセキュリティ(売上高構成比:6.8%)
⊕ 官公庁関連をはじめとした複数顧客における受注拡大や、高収益な新規案件の獲得

ITインフラ(売上高構成比:12.0%)
⊕ 金融およびエネルギー関連顧客、大手ITベンダーにおける新規案件の獲得や、取引の拡大

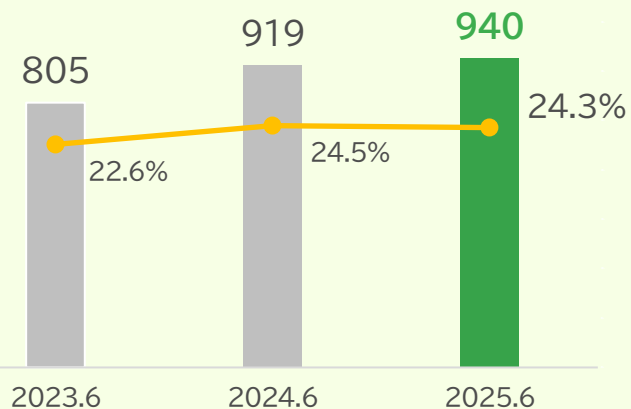
基盤領域
73億
42百万円
(YoY+9.4%)

アプリケーション開発(売上高構成比:35.8%)
⊕ 金融、エネルギー、製造関連顧客における受注拡大や、大手ITベンダーへの営業強化による取引の拡大
⊕ 価格適正化に向けた単価の見直し

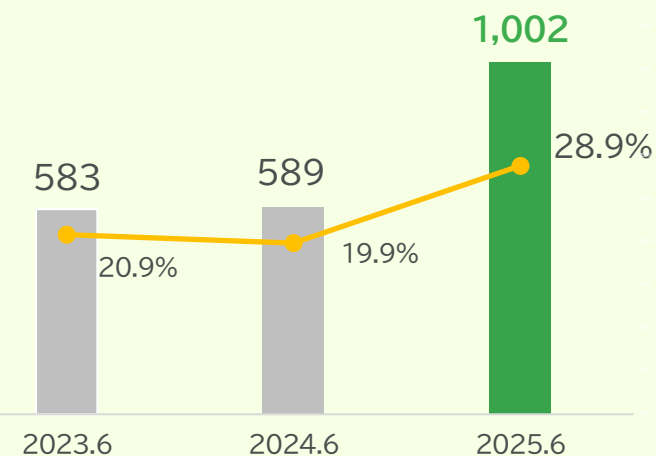
システムマネジメント(売上高構成比:40.1%)
⊕ 金融関連顧客や大手ITベンダーにおける受注拡大
⊖ 一部案件の縮小

■ 売上総利益(百万円)
— 売上総利益率

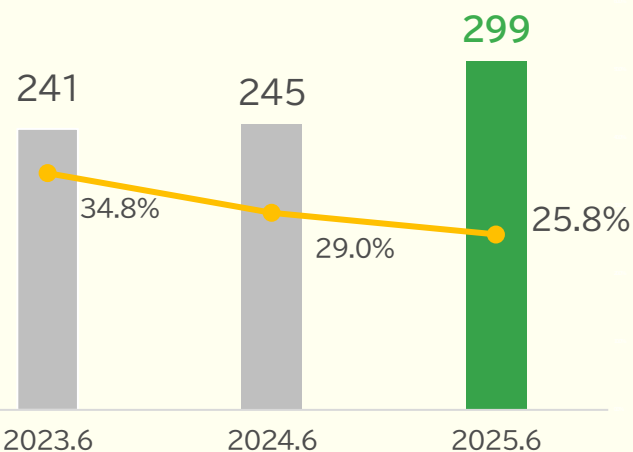
<システムマネジメント>



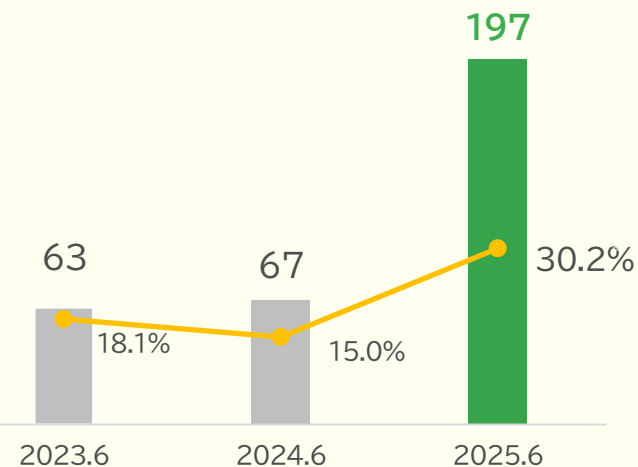
<アプリケーション開発>



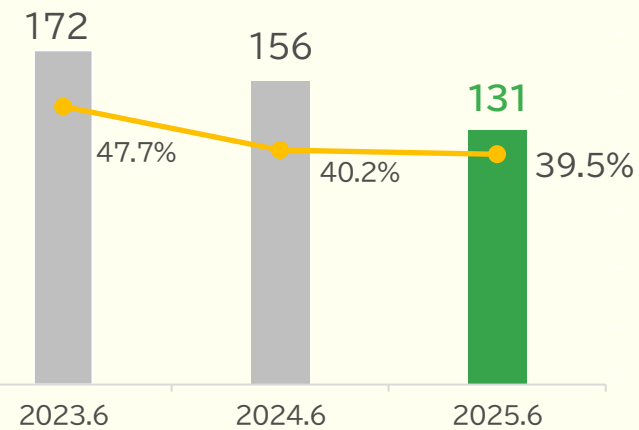
<ITインフラ>



<サイバーセキュリティ>



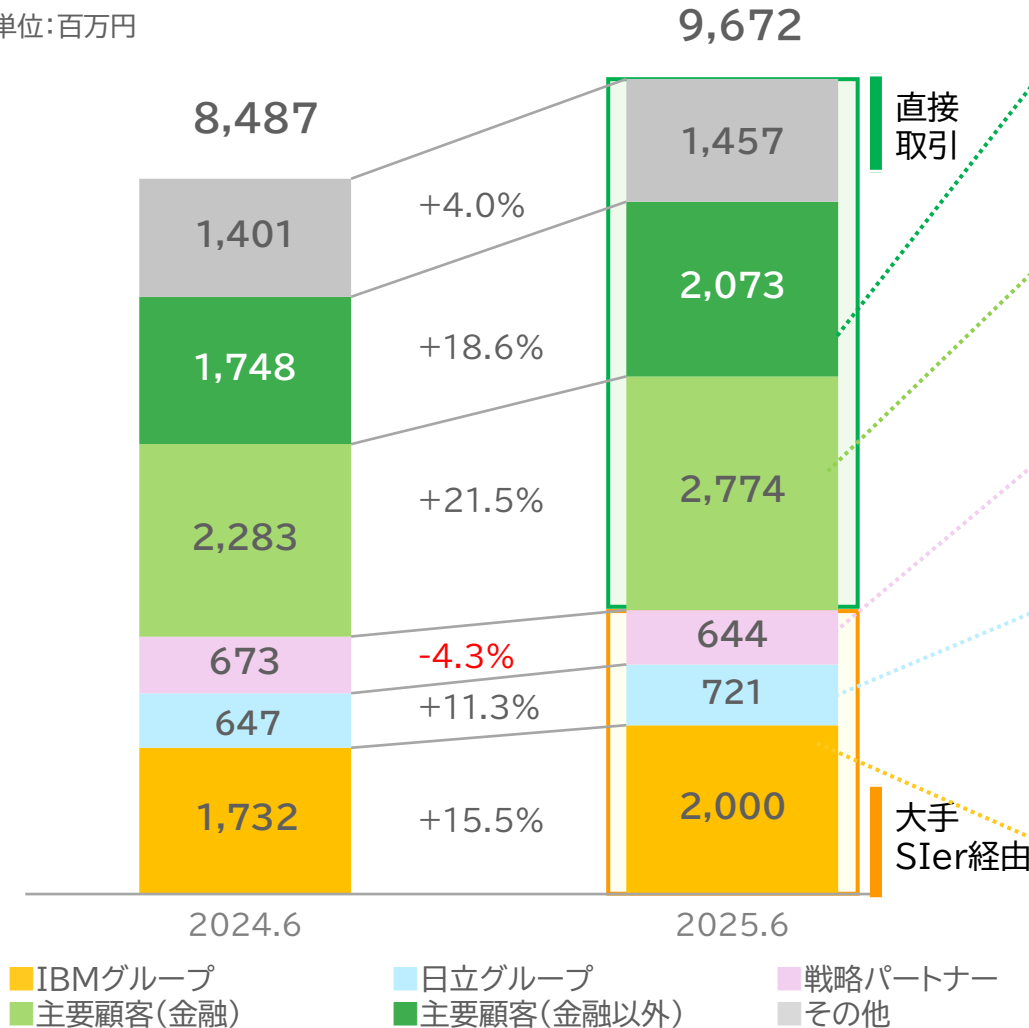
<コンサルティング・教育>



戦略グループ別売上高構成

直接契約(約6割)と大手SIer経由の案件(約4割)のバランスにより、安定した収益基盤を確保。

単位:百万円



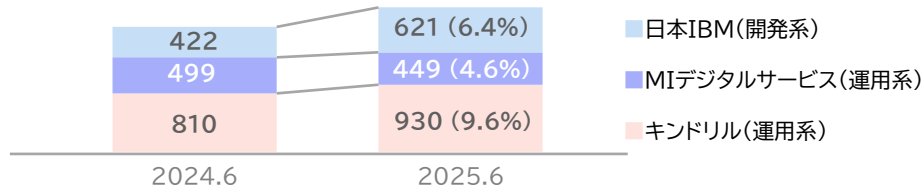
主要顧客(金融以外)(売上高構成比:21.4%)
 ⊕ エネルギー関連顧客における複数の新規案件の受注
 ⊕ 製造関連顧客におけるアプリケーション開発案件の受注

主要顧客(金融)(売上高構成比:28.7%)
 ⊕ クラウド基盤の移行・構築案件の受注拡大
 ⊕ アプリケーション開発、ITインフラにおける大型案件の受注

戦略パートナー(売上高構成比:6.7%)
 ⊖ アプリケーション開発における案件の終了等

日立グループ(売上高構成比:7.5%)
 ⊕ アプリケーション開発、ITインフラにおける受注拡大等

IBMグループ(売上高構成比:20.7%) ※グラフのカッコ内は売上高構成比
 ⊕ ITインフラにおける複数の新規案件の受注
 ⊕ エネルギー関連顧客におけるアプリケーション開発案件の受注拡大
 ⊕ 官公庁関連顧客におけるセキュリティ新規案件の受注

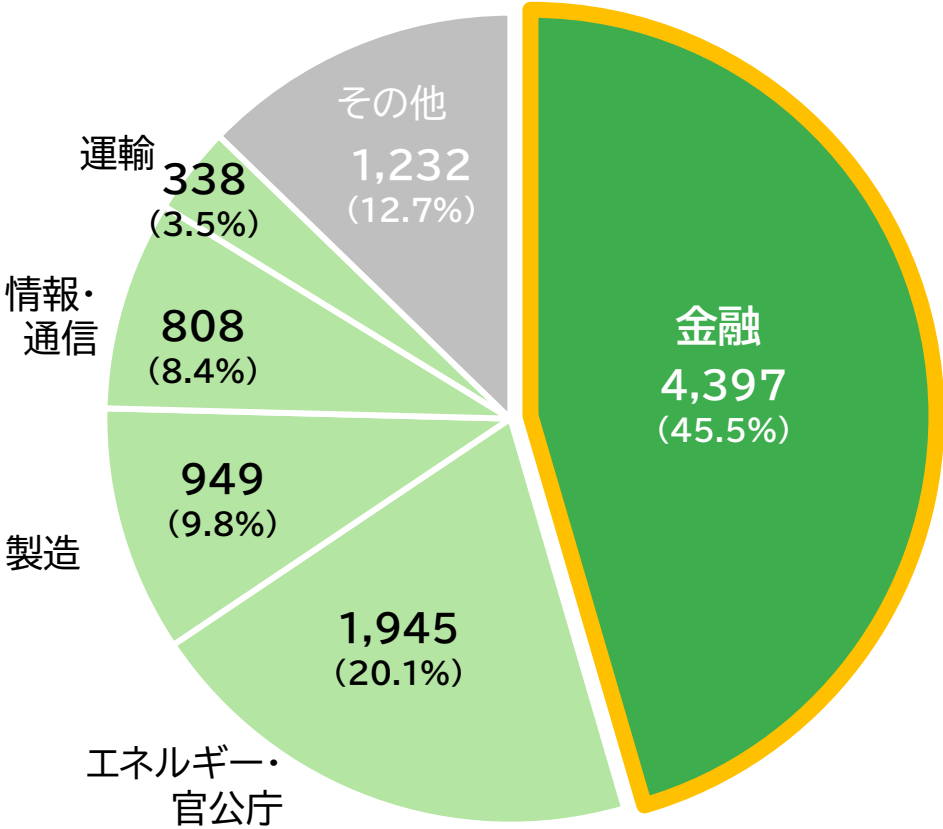


※今期より一部顧客の計上区分を変更しています。前期の売上高についても、変更後の区分に基づき算出しています。

金融向けの売上高が約5割を占める。

(単位:百万円)	2025.6	構成比	前年同期比	
金融	4,397	45.5%	+503	+12.9%
エネルギー・官公庁	1,945	20.1%	+358	+22.6%
製造	949	9.8%	+131	+16.1%
情報・通信	808	8.4%	+110	+15.8%
運輸	338	3.5%	-35	-9.5%
その他※1	1,232	12.7%	+117	+10.5%
合計	9,672	100.0%	+1,185	+14.0%

単位:百万円
()内:売上構成比率

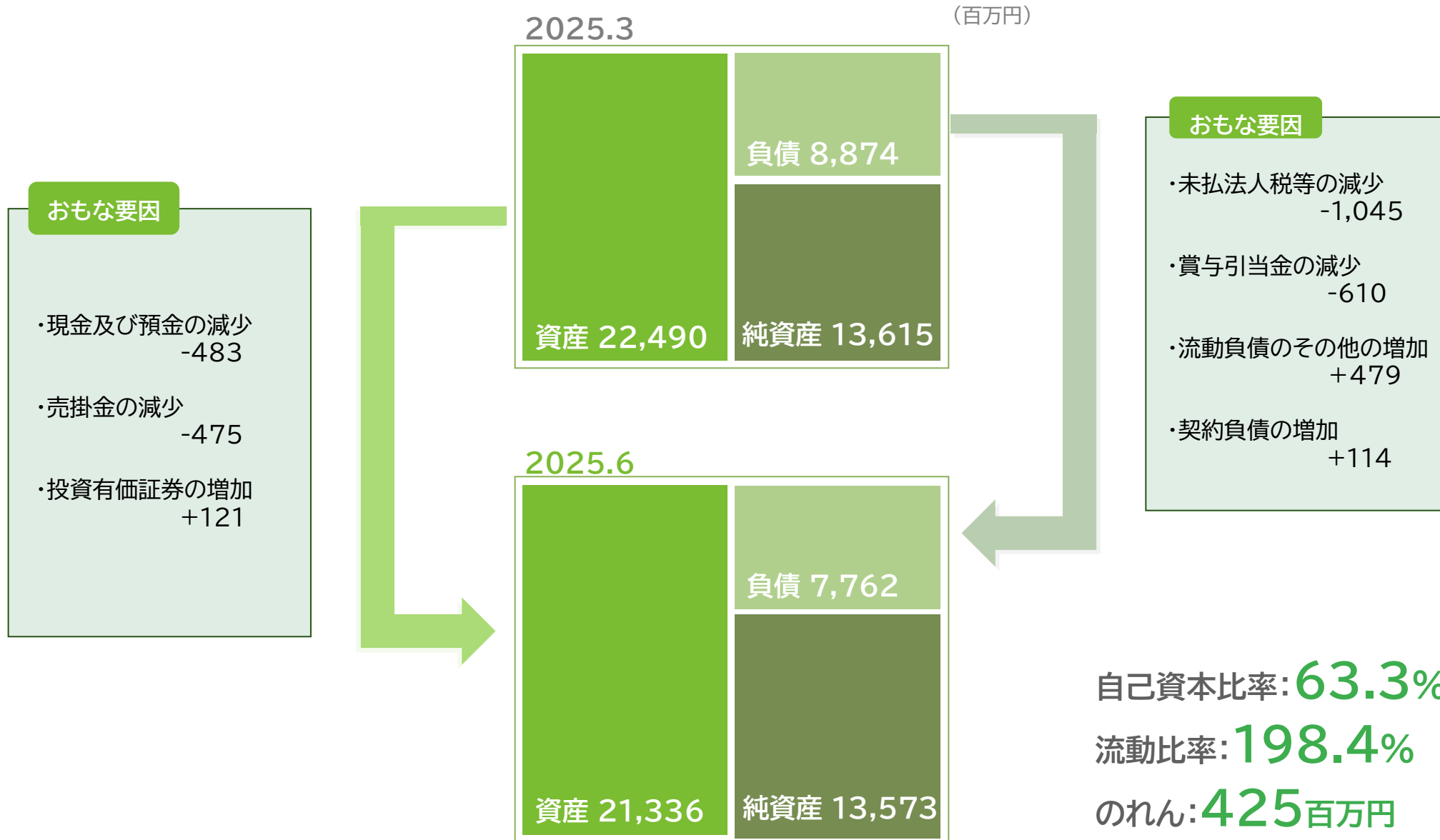


※1 「メディア」、「ヘルスケア」、「建設・不動産」、「卸売・小売・飲食店」等
※2 顧客企業の状況により、計上区分を変更する場合があります。前期の売上高も、変更後の区分に基づき算出します。

営業利益の増減要因

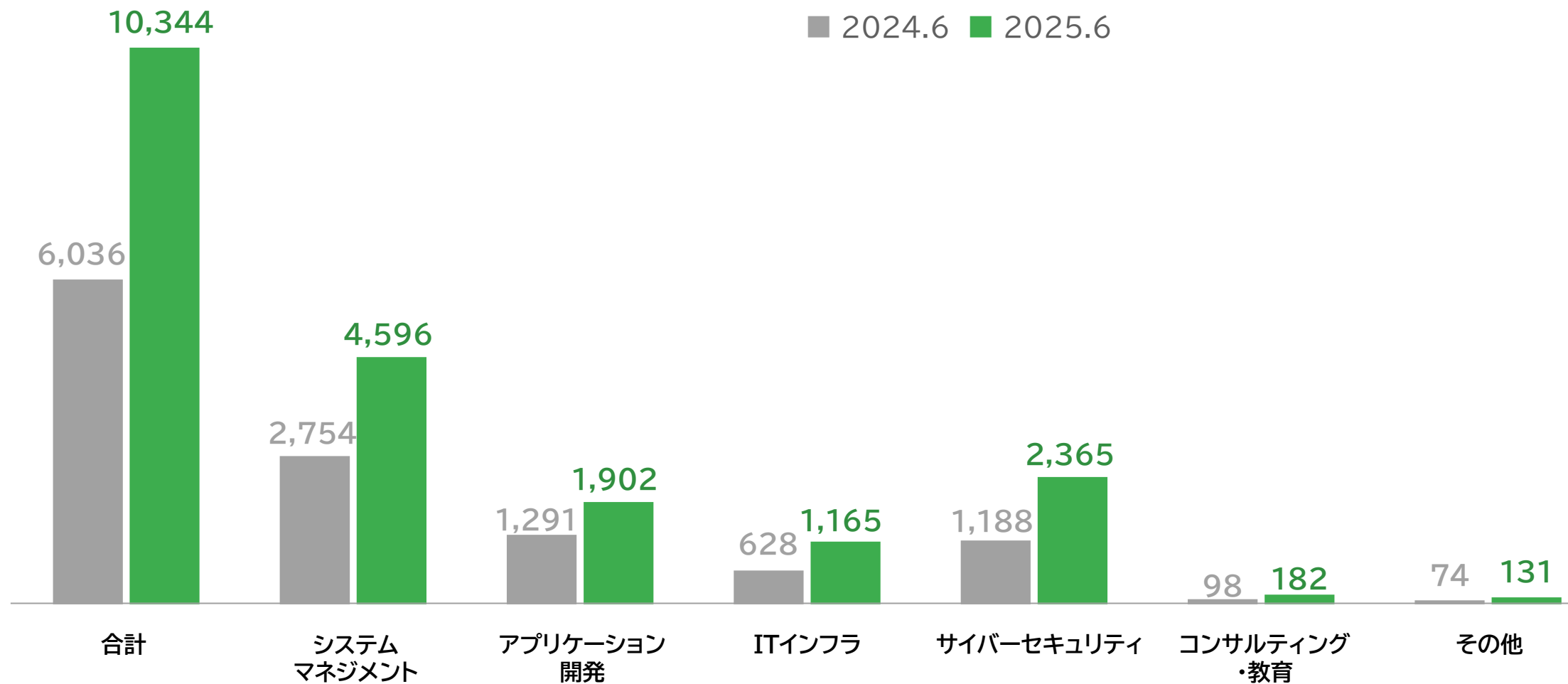
	2024.6	2025.6		おもな増減要因
(単位:百万円)	実績	実績	増減額	
売上総利益	1,984	2,585	+601	・売上高の増加 +1,185 ・売上原価の増加 +584 -外注費 +423 -労務費 +95 -仕入 +63
販売費及び一般管理費	1,255	1,576	+321	・人件費の増加 +290 -従業員への還元の推進 ・その他販管費の増減 +31 -人材育成・確保のための戦略的投資の増加 -のれん償却額の減少 など
営業利益	729	1,009	+279	

Change or Die !



単位:百万円

■ 2024.6 ■ 2025.6



2026年3月期通期 連結業績予想(前期比)

	2025.3		2026.3		増減比	
(単位:百万円)	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
売上高	36,274	-	38,500	-	+2,225	+6.1%
EBITDA	4,390	12.1%	4,440	11.5%	+49	+1.1%
営業利益	3,780	10.4%	4,000	10.4%	+219	+5.8%
経常利益	3,862	10.6%	4,010	10.4%	+147	+3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,389	6.6%	2,410	6.3%	+20	+0.8%
1株当たり当期純利益 (EPS)(円)	142.54	-	143.27	-	+0.73	-
のれん償却前EPS(円)	165.43	-	155.27	-	-10.16	-
営業CF	3,557	-	3,340	-	-216	-

Change or Die !

免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社 IDホールディングスの業績予想、将来戦略、事業計画などの将来情報や経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な要素が含まれています。

これらの歴史的事実以外の情報に含まれる予測及び計画は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は、今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な原因により、記述されている将来予測及び計画とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

■ ■ ■ 当社コーポレートサイト、ならびにアナリストレポートもあわせてご覧ください



中期経営計画

<https://www.idnet-hd.co.jp/ir/strategy.html>



(株)シェアードリサーチによる
アナリストレポート

※閲覧には会員登録が必要です。
<https://sharedresearch.jp/ja/companies/4709>